

2018年10月10日

報道関係者各位

湘南ヘルスイノベーションパーク

湘南ヘルスイノベーションパーク中期戦略を発表

2023年度までの入居企業200社誘致に向けて

湘南ヘルスイノベーションパーク（以下、「湘南アイパーク」）は今後の持続的な成長の実現に向けて2018年度から2023年度までの中期戦略を策定しましたので、概要をお知らせいたします。

ビジョン：革新的なアイデアを社会実装する

湘南アイパークは新たなビジョンとして「革新的なアイデアを社会実装する」を掲げ、重大な社会問題として挙げられる「再生医療」、「希少疾患」、「認知症」、「未病」の4つの領域における課題解決に今後注力してまいります。また、これらの課題解決のための基盤として、湘南アイパークが「ヘルスケアとIT/AIの最先端技術の融合を実現する場」および「創薬プラットフォームの拡充による次世代研究を加速する場」となることを目指します。



図：注力領域と注力基盤

今回策定した戦略では、これらの注力領域における課題解決および注力基盤の支えとなるバイオベンチャーやアカデミアをターゲット企業・団体として捉え、このターゲットを中心に、2023年度までに200社の入居企業の誘致を目指します。

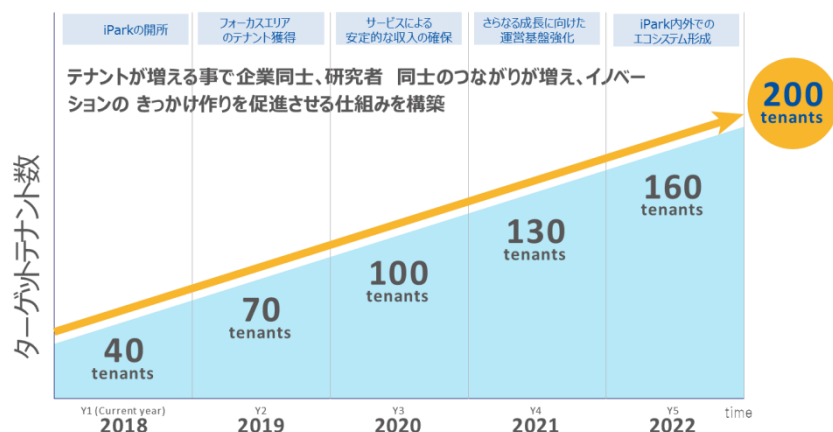
各注力領域における取り組み

今回策定した戦略の実現のために、湘南アイパークでは各注力領域において下記の取り組みを推進します。

- ・ 「再生医療」では、神奈川県と連携し、法規制、人材・システム・インフラ、推進・体制・財源における再生医療実用化に向けた課題と提言をまとめ、発表します。
- ・ 「希少疾患」では、患者データへのアクセス、ノウハウの集積によりバイオベンチャーやアカデミアの支援体制を構築していきます。

「認知症」「未病」では、神奈川県（未病産業研究会）と連携し、企業、産業、自治体を集結させ、インフラ設計、制度設計、製品開発、サービス開発、各種支援等を一体設計できるプラットフォームを構築し、ビジネス化を進める「湘南会議」を設立します。

成長プラン：戦略を確実に実施、ターゲット企業獲得・エコシステムの形成を目指す



図：成長プラン

ジェネラルマネジャーメッセージ

湘南アイパークのジェネラルマネジャーの藤本は「4月の開所より中長期戦略の策定を進め、今回皆様に発表できたことを大変うれしく思います。注力領域および注力基盤において革新的なアイデアを持つ世界中のバイオベンチャーやアカデミアが湘南アイパークに集まり、そのアイデアが患者さんに届く形に実用化されるよう、湘南アイパークは世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築を今後も目指していきます」と述べています。

以上

湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、サイエンスにおけるイノベーションを強化するために、武田薬品工業株式会社が湘南研究所を開放することにより設立されました。製薬企業が有する創薬ノウハウを基盤として、ベンチャー、スタートアップを含む産官学が結集し、ライフサイエンスにおける最先端技術・知見を活用したアイデアの創出・実現を可能とするイノベーションを加速化することを目指しています。



本プレスリリースについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

湘南ヘルスイノベーションパーク広報代理
株式会社コスモ・ピーアール 鳴海・野角
TEL : 03-5561-2915 FAX : 03-5561-2912
Email: ipark@cosmopr.co.jp